



大戸川ダムだより



第24号

2025年
3月発行

雪景色となったダムサイト周辺



～ダムサイトでの地質調査が佳境に入っています～

ダムサイト周辺では、横坑やボーリングなど、地質を詳しく調べるための調査を複数箇所で行っており、2月には最盛期を迎えました。

川の中や道路のない対岸など、簡単には人が立ち入れない場所でも、索道やモノレールなどを駆使して作業しています。

繰り返し押し寄せた寒波により、雪が積まることもありましたが、着々と調査を進めています。

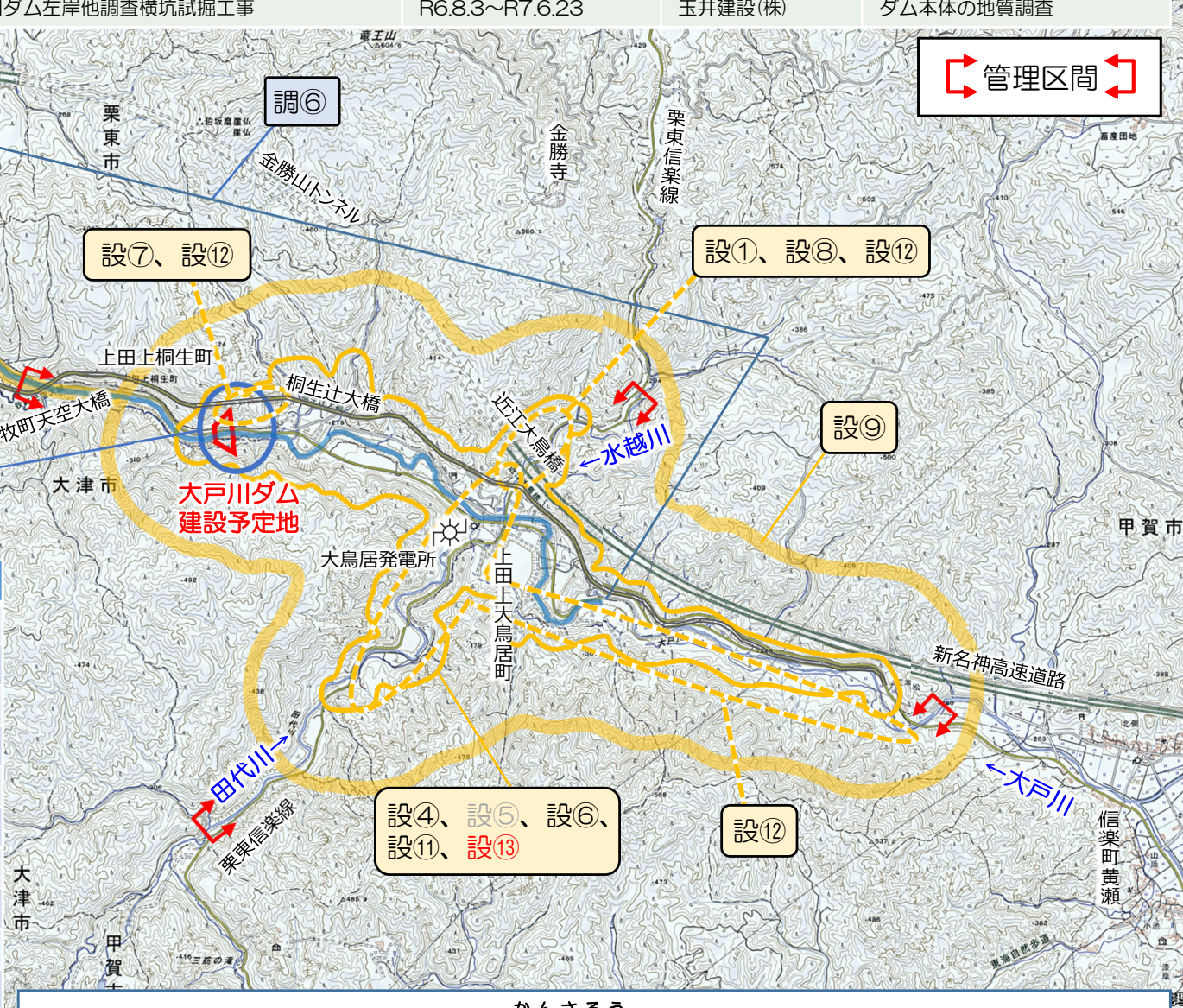
※記載の工事・業務については、主要なもの（維持作業、水理水文調査、事務補助等を除く）を記載しています。（R7.2.28時点）

[illegible]

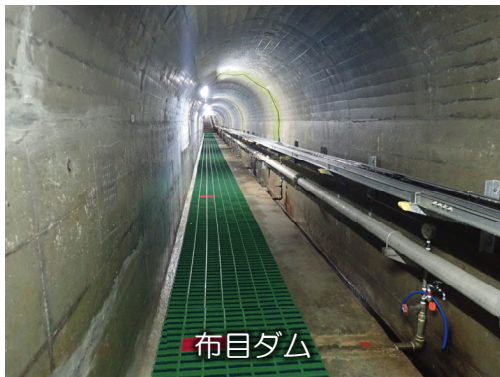
番号	件名	期間	請負業者	概要
調⑥	大戸川ダム漁業補償調査算定等業務	R6.4.24～R7.3.28	大阪インジニアリング(株)	漁業実態の調査
調⑧	大戸川ダム本体右岸地質調査その1業務	R6.8.9～R7.3.27	大日本ダイヤモンド(株)	ダム本体の地質調査
調⑨	大戸川ダム本体右岸地質調査その2業務	R6.8.20～ R7.3.31	日本工営(株)	ダム本体の地質調査
調⑩	大戸川ダム本体右岸地質調査その3業務	R6.8.10～R7.3.24	(株)ニュー・エック	ダム本体の地質調査
調⑪	大戸川ダム本体右岸地質調査その4業務	R6.8.20～R7.3.25	川崎地質(株)	ダム本体の地質調査
調⑫	大戸川ダム本体右岸地質調査その5業務	R6.9.13～R7.4.30	(株)ニュー・エック	ダム本体の地質調査
調⑬	大戸川ダム本体河床部地質調査業務	R6.9.12～R7.4.30	大日本ダイヤモンド(株)	ダム本体の地質調査
調⑭	大戸川ダム本体左岸地質調査その2業務	R6.9.14～R7.4.30	(株)建設技術研究所	ダム本体の地質調査
調⑮	大戸川ダム本体右岸地質調査その6業務	(契約手続中)		ダム本体の地質調査
調⑯	大戸川ダム本体右岸地質調査その7業務	(契約手続中)		ダム本体の地質調査

番号	件名	期間	請負業者	概要
設①	大戸川ダム栗東信楽線北部道路詳細設計業務	R5.5.2～R7.2.27	中央復建コンサルツ(株)	付替県道栗東信楽線の設計
設③	大戸川ダム水理検討業務	R6.2.1～R7.3.21	国立研究開発法人 土木研究所	ダムの洪水吐や放流能力に関する検討
設④	大戸川ダム実施設計業務	R6.3.5～R7.3.25	(株)ニュー・ゼック	ダム本体の詳細設計他
設⑥	大戸川ダム地域振興検討業務	R6.4.16～R7.3.14	(株)オリエンタルコンサルツ	事業用地利活用検討
設⑦	大戸川ダム管理用道路詳細設計他業務	R6.5.21～R7.9.30	(株)オリエンタルコンサルツ	ダム管理用道路の詳細設計
設⑧	大戸川ダム栗東信楽線北部道路落石対策工他詳細設計業務	R6.5.8～R7.5.9	(株)イト日本技術開発	落石対策、トンネル設備の詳細設計等
設⑨	大戸川ダム環境調査結果とりまとめ業務	R6.6.19～R7.5.30	日本工営(株)・ (一財)水源環境センターJV	環境調査結果のとりまとめ
設⑩	大戸川ダム基礎岩盤特性解析業務	R6.10.19～R7.7.31	(株)ニュー・ゼック	ダム本体の地質解析
設⑪	大戸川ダム本体修正設計業務	R7.1.10～R8.3.25	(株)ニュー・ゼック	ダム本体の詳細設計他
設⑫	大戸川ダム栗東信楽線道路予備修正他業務	(契約手続中)		付替県道栗東信楽線、付替市道・林道の設計他
設⑬	大戸川ダム周辺整備検討業務	(契約手続中)		事業用地利活用検討
設⑭	大戸川ダム放流設備水理検討業務	(契約手続中)		ダムの洪水吐や放流能力に関する検討
設⑮	大戸川ダム転流工詳細設計業務	(契約手続中)		転流工の詳細設計

番号	件名	期間	請負業者	概要
工①	大戸川ダム右岸調査横坑試掘工事	R6.5.14～ R7.3.25	(株)広川組	ダム本体の地質調査
工②	大戸川ダム左岸他調査横坑試掘工事	R6.8.3～R7.6.23	玉井建設(株)	ダム本体の地質調査



✓ 監査廊は、ダム の 堤 体 内 部 に 設 け ら れ る 管 理 用 の 通 路
で す 。 堤 体 や 基 礎 地 盤 に 異 常 (ひ び 割 れ や 漏 水 、 変 形
等) が な い か を 調 べ る た め の 測 定 ・ 観 察 に 使 わ れ る ほ
か 、 ゲ ー ト (洪 水 吐 の 開 き 具 合 を 調 節 す る 設 備) 操 作
室 へ の 移 動 経 路 な ど と し て も 使 わ れ ま す 。



通常、一般の方が立ち入ることはできませんが、一部のダムでは見学ツアーが企画されることもあります。



- ✓ 堤体内は外気の影響を受けづらく、監査廊の温度は年間を通してほぼ一定に保たれます。夏は涼しく、冬は温かいこの環境を利用し、ダム周辺地域ゆかりの食品（日本酒、ワイン、焼酎など酒類やコーヒー豆、チーズなど）の貯蔵場所として活用することで、地域活性化につなげようという取り組みが、近年、全国のダムで行われています。

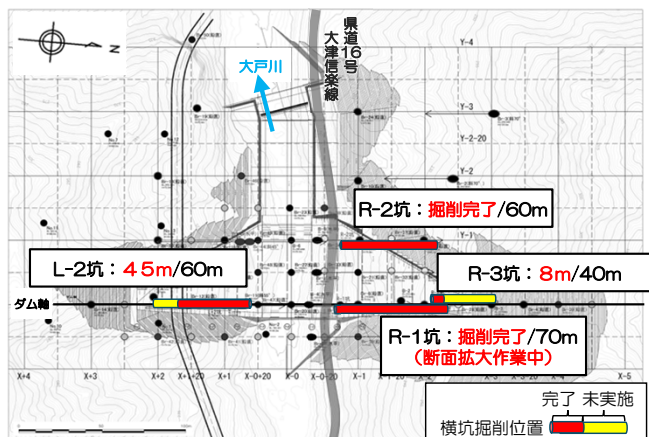
◆大戸川ダム の進捗状況（令和7年2月末時点）

用地の取得 → 道路の付替（大津信楽線） → ダム本体等の調査設計 → 道路の付替（栗東信楽線） → 工事用道路 転流工 → 基礎掘削 → ダム 堤体打設 → 試験湛水 → 完成

イマココ

工 事

- ✓ 工①では、既に掘削が完了している右岸の調査横坑・R-1坑で、設⑩で実施予定の「岩盤せん断試験」に向けた断面拡大作業を行っています。
- ✓ 工②では、左岸の調査横坑（L-2坑）の掘削作業を続けており、45m地点まで掘進しました。
- ✓ また、右岸高標高部の調査横坑（R-3坑）でも掘削作業を開始し、8m地点まで掘進しました。



調 査

- ✓ ダムサイト右岸の斜面や、川の中で地質調査を行う調⑧～⑭のうち、調⑧、調⑩では、ボーリング調査が完了しました。調⑨、⑪～⑭では引き続きボーリング調査を実施中です。
- ✓ ダムサイト右岸の地質調査業務として、新たに調⑮、⑯の契約手続きを開始しました。



現地での確認

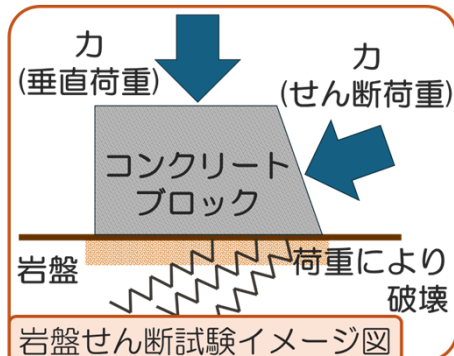


遠隔での確認

◀▲ボーリング孔が規定の深さまで到達しているかは、掘進に使った金属パイプ等を並べて確認します。近年では、試行的に遠隔での確認も行っています。

設計・検討

- ✓ ダムサイトの地質の総合的な解析を行う設⑩では、工①で掘削した調査横坑（R-1坑）での「岩盤せん断試験」の実施に向けて準備を進めています。
- ✓ 「岩盤せん断試験」は、ダムの基礎地盤の「せん断強度」（岩盤を变形・破壊しようとする力が加わったときに、岩盤がどれだけ耐えられるかを表す指標）を調べるための試験です。
- ✓ ダム周辺地域の振興振興策や堤体付近・洪水調節地等の整備案の検討などを行う業務（設⑬）、ダムの洪水吐や放流能力に関する検討を行う業務（設⑭）、及び、転流工（ダムの建設に先立って川を一時的に迂回させる）の詳細な設計を行う業務（設⑮）の契約手続きを開始しました。



【発行】

国土交通省 近畿地方整備局
大戸川ダム工事事務所

〒520-2144 滋賀県大津市大萱1-19-32
TEL 077-545-5675（代表） FAX 077-543-5340
事務所webサイト <https://www.kkr.mlit.go.jp/daido/>
X（旧 Twitter） @daidogawadam



webサイト



X（旧 Twitter）



大戸川ダム

大戸川ダム

検索